

単語の合成と意味の特異性

—ful 名詞の比喩的数量の意味をめぐって—

福 安 勝 則

1. はじめに

人の手を加えて作り上げた人工物のうち、入れ物、容器についての人の認識はことさら深いものがある。〈容器〉には、形状、大きさ、容積、材質、用途・機能、色彩等、さまざまな要素が込められている。また、自然物、とりわけ人や動物の体の一部を〈容器〉に見立てる場合も少なくない。

容器にかかわる英語表現の中で、複合語としての-ful 名詞表現は、「多数」、「多量」、「少数」、「少量」等の意味を表すことがある。これらを本稿では「比喩的数量」と呼び、その特徴を考察する。¹

2. -ful 名詞

次の(1)の構造においてXのところに具体名詞をとり全体が名詞の働きをするものを-ful 名詞と呼ぶことにする。² その例には(2)のようなものがある。

(1) X-ful

- (2) apronful, armful, bagful, barrelful, barrowful, basinfu, basketful, beakerful, bellyful, binful, boatful, bottleful, bowlful, boxful, bucketful, bushelful, canful, capful, carful, cartful, careful, cheekful, chestful, closetful, coachful, crateful, cupful, deskful, dessertspoonful, dipperful, dishful, drawerful, dropperful, earful, eyedropperful, eyeful, faceful, fingerful, fistful, forkful, gardenful, glassful, handful, harborful, hatful, headful, hornful, houseful, jarful, jugful, kettleful, ladleful, lapful, lungful, mouthful, mugful, netful, pailful, palmful, panful, penful, pipeful, pitcherful, plateful, pocketful, potful, purseful, quiverful, rackful, roomful, sackful, saucepanful, saucerful, scoopful, shelfful, shipful, shopful, shovelful, skepful, skinful, snootful, spadeful, spoonful, stickful, stomachful, streetful, syringeful, tableful, tablespoonful, tankful, teaspoonful, teacupful, teaspoonful, thimbleful, tinfu, toothful, trainfu, trayful, truckful, trunkful, tubful, tumblerful, vatful, wineglassful, zoofu, ...

3. 物理的数量と-ful名詞の「比喩的数量」

容器の場合、その内容量は物理的には決まっているが、比喩的に用いる場合はどのようなのであろうか。以下では、具体的に例をとりあげ考察する。

3. 1. bushelful

まず、ブッシェル(bushel)升を例にとって考えてみよう。元々英国では直径18インチ、高さ8インチの円筒形の升を用いていたとされる。ブッシェル升は約8ガロンであり(アメリカとイギリスではガロンの単位が多少異なる)、ヤード・ポンド法の体積の単位である。おもに果実や穀物の計量に使用され、英国では1ブッシェル=8ガロン=36.3691リットル、米国では1ブッシェル=35.2391リットルである。³

この bushel を含む bushelful の意味を考えてみよう。『研究社新英和大辞典』、『ジーニアス英和辞典』の bushelful の項目には文字通りの意味「ブッシェルます一杯分の量」のほかに、「多量」、「多数」の意味をあげている。

(3) a bushel of love --ジーニアス英和辞典

実際の例をみてみよう。

(4) No movie has inspired such a passionate hatred in my soul as the Notebook. I'd probably rather eat a bushelful of tomatoes than watch that again. --Worst Movie You've Seen

そんな映画をもう一度観るくらいなら、トマトの1ブッシェル分の量を食べたほうがまだ、という文面のなかには、文字通りトマト1ブッシェルと解することもできるが、トマトの多い量をみてとることができる。

このような多量の意味を表す比喩的な例から、ブッシェル升自体の容量が多いという認識が英語話者にあることが示唆される。大きい升が満たされている (full である) ことにより、その量が多いことが意味されることになる。

3. 2. quiverful

quiverful の意味には、(5) のような文字通りの意味のほかに、(6),(7)に見られるような比喩的数量である多数、大勢の意味がある。

(5) a quiverful of arrows (矢筒一杯分の矢) --英語活用大辞典

(6) a quiverful of birds --研究社新英和大辞典

a quiverful of children --リーダーズ英和辞典

(7) His sons, restrained by Act of Parliament and an unyielding father, provided a quiverful of bastards. -- Brothers and Sisters in Revolt

この quiverful の文字通りの解釈にあるように、矢筒一杯分に含まれる矢の数はかなりのものであり、それが多数の意味へと容易につながる事が推察される。

ここで注目しておきたいのは、矢筒 (quiver) 自体はあくまで容れ物であり、潜在的に多くの矢

が入るという機能を備えているだけであるという点である。この潜在的特徴をもつ *quiver* が、*-ful* と結び付くと矢筒を満たすことになる。矢筒を満たすのは細い矢であるという矢筒の内在的特長により、満たされた矢筒の数は多数であるという解釈につながる。後に第 4 節でも考察するが、*-ful* 形態素は、<もの>の潜在的特徴の一つをいわば具現化、クローズアップする機能、或いはスポットライトを当てる機能を有しているということを指摘しておきたい。

3. 3. *bagful, barrelful, basinful, basketful, bucketful* 等

次の(8)のような *-ful* 名詞は、文字通りの意味のほかに、比喩的数量において、多数・多量の意味をもつことが知られている。中に入れるものにもよるが、袋、樽、洗面器、たらい、籠、バケツ、水差し、皿、ポケット、壺、大袋、トランクなどは、比喩的数量が大となる可能性を秘めていると言えよう。

- (8)a. *bagfuls (a bagful) of money (tricks)* かなり (多くの) 量 [数]
 b. *barrelful of fun (foreign words)* たくさん、大量
 c. *basinful* (仕事・困難などが) たくさん
 d. *basketful* 相当な数; かなりの量 *a basketful of shock*
 e. *bucketful* 多量 *sell [produce] by the bucketful*
 f. *jugful* 大量、多量 次の成句で *not by a jugful* 以上 6 例、--研究社新英和大辞典
 g. *plateful* 多量、多数 *a plateful of sandwiches* --ジーニアス英和辞典
 h. *pocketful* 口語、たくさん、一杯 *pocketful of money* --研究社新英和大辞典
 i. *potful* 大量 *a potful of money* --ジーニアス英和辞典
 k. *sackful* 口語、たくさん (*large quantity*) (*of*) --研究社新英和大辞典
 l. *trunkful* 口語、豊富、どっさり、一杯 *a trunkful of jokes*

3. 4. 比喩的数量が少量の例—*spoonful, teaspoonful, thimbleful* 等

スプーン、茶さじ、指ぬきは物理的に小さいものである。これが満たされても量は少ないと認識するのは自然なプロセスである。辞書によれば、*spoonful, teaspoonful, thimbleful* 等は文字通りの意味に加えて文脈によっては少量を意味する。

- (9) a. *spoonful* 少量、少数 --研究社新英和大辞典
 b. *teaspoonful* 少量、ちよっぴり --研究社新英和大辞典
 c. *thimbleful* 指ぬきに入るぐらいの量 (の液体)、少量 (*dram*) *thimbleful of brandy*

多数・多量と少数・少量を分ける境界はどこにあるのであろうか。明確にはわからないが、人工物の場合、樽やバケツとスプーンや指ぬきの間辺りにありそうである。

今までの例から、*X-ful* 全体の比喩的数量の解釈は、*X* で示される容器をどのように把握しているかということと関連しているということが言える。

4. *-ful* の役割 *needleful, thimbleful, navelful*

-ful 名詞の *-ful* は、(1)の *X-ful* の *X* が何かでいっぱい満たされていることを表すという意味特

徴をもっている。3節で見てきたように、一般に、X-ful of Yの句において、XはYで満たされる場所を表し、YはXを満たすものを表す。

さらに、-ful名詞の-fulは、Xのもつ主要な特徴以外のところにスポットライトを当てる機能を有している。Xが通常の容器とは異なる場合に、その機能が浮き彫りとなる。

needlefulは、二つの点で興味深い。まず、-fulが凹性を持つ物を選択するという点が明確になるということである。needleを辞書で引くと、さまざまな意味が挙げられている。『ジーニアス英和辞典』では、「針、縫い針、編み物針；(注射器・レコードプレーヤー・手術用などの)針；鍼(はり)；(磁石・測定器などの)針...」である。ところが、needlefulとなると、縫い針や注射針といった空洞のあるものだけが関係してくる。needlefulで指し示されるものは、針の種類によって異なる。

(10) needleful 針に通して使うのに適当な長さの糸 --リーダーズプラス

(11) a needleful of vaccine --USAID

縫い針では糸が通る穴が開いており、穴を満たすものを指し示している。その針の目を満たすものは糸であるため、その通された糸のことを指す。はみ出した糸の他の部分もつながっているためその部分も指し示す。(11)の例では、注射針の中を縦に通る細い管を満たすもの(ワクチン)を示している。同じneedlefulでもどこに窪み(容器性)があるかでその指し示されるものが変わってくる分かりやすい例である。

もうひとつの興味深い点は、「ものを貫通させる鋭い先をもち細長い」という針の特徴ではなく、空洞あるいは穴をもっているという針の特徴がクローズアップされているということである。すでに見た(9c)のthimberfulについても、針から指を守るという主要な機能ではなく、指ぬきの形状が利用されているという点で同様のことが言える。

人間の体の一部の場合でも、凹性に関わるものを選択する。(12)で描かれている状況を浮かべてみよう。

(12) a navelful of salt

(13) toothful ちょっぴり --研究社英和大辞典

(12)のnavelful(へそ一杯の量)はあまり見慣れない単語であるが、容認可能な単語であるとする、同じへそ(navel)でも、出べそ(outie)ではなく、引っ込みべそ(innie)であることが理解される。

また、人の歯(tooth)は噛んだり、磨り潰したりする機能をもっているが、(13)のように-fulがつくと、歯の大きさと形状の方がクローズアップされる。ブランデー等で歯を満たすのはほんの僅かな量であることになり、toothfulの「ちょっぴり」という意味が形成されたと考えられる。

5. X-fulの比喩的数量の意味と主要部

本節では、複合語としての-ful名詞の全体の特徴を決めている要素についてまとめておきたい。

-ful名詞の特徴を考察するにあたり、単語の主要部を、Di Sciullo and E. Williams (1987)の相対

的主要部の考え方にしたいが、概略、その単語を構成している要素のうち、単語全体のある特徴を決定している要素である、としておきたい。⁴ まず、**-ful** 名詞を品詞(統語範疇)の観点から考えてみよう。全体は名詞であるのでその名詞性を決めているのが主要部となる。**X** は名詞であるので、**X-ful** の主要部は品詞決定の特徴の観点からは **X** が主要部であると言えそうであるが、全体の名詞性は形容詞からゼロ派生で形成されている可能性もあるゆえ、**-ful** 名詞の場合、どの要素が全体の名詞性を決めているかははっきりしない。

項構造の観点からは、**-ful** が主要部である。**X-ful** は語の外に容器を満たすもの(例えば、**a spoonful of sugar** の **sugar**) を取るが、その特徴は **-ful** の項構造の中に主題役割 (**Theme**) を必要としているからである。また、今まで見てきたように、**X-ful** は語の中に <容器> である場所を必要とするが、その特徴は **-ful** の意味役割の中に場所 (**Place (container)**) が含まれているからである。**-ful** の項構造情報が **X-ful** の項構造情報を決定しているから、**-ful** が項構造に関して主要部である。

前節までで見てきたような **X-ful** の比喩的数量(多数、多量、少数、少量)は、どちらの要素によって決定されるのかをまとめておこう。**X-ful** が多量、多数と解釈されるのは、それぞれ、**bushful** の **bushel**、**quiverful** の **quiver** のように **X** の潜在的収容量が多いと把握されていると考えられる場合であった。**X-ful** が少量、少数と解釈されるのは、**spoonful** の **spoon**、**thimbleful** の **thimble** のように **X** の潜在的収容量が少なく把握されていると考えられる場合であった。**X-ful** の **X** が比喩的数量に深く関わっている。**X-ful** が比喩的数量の意味をもつとき、**X** は比喩的数量に関して主要部であるといえるのではなかろうか。

6. 体の一部の比喩的数量について **-earful** はなぜ「たくさん」の意味をもつのか

第4節の(13)の **toothful** でもみたように、人の体の部位のかかわる **-ful** 名詞にも、比喩的数量にかかわる表現をもつものがある。本節ではその点を考察する。耳の穴や鼻の穴は、そんなに大きくはないが、**earful** に「たくさん」の意味があるのはなぜであろうか。

6. 1. **earful**

英語母語話者が **ear**(耳)についてどのように認識しているかは興味深い。まず、『研究社新英和大辞典』と **COBUILD** の例を見ておきたい。

(14) **earful** たくさん (の話、ゴシップ) **I have heard an earful of good stories.**

(15) **If you say that you got an earful, you mean that someone spoke angrily to you for quite a long time. [informal] I bet Sue gave you an earful when you got home.**

前節でみたように、**X-ful** における比喩的数量は、**X** の特徴に起因しているとみることができる。このことが体の一部についての把握にも当てはまると仮定して考察してみよう。**earful** の「多量」の意味は、**ear** の特徴が反映されたものということになる。耳 (**ear**) の特徴の中で、形状ではなく、情報を聞き入れる潜在的な量にスポットライトが当たっていると考えて見よう。耳の情報の収容力、耳の聞き入れる量には通常限りはないといえる。通常の場合、情報は耳の中へ入っていくが耳の中にはとどまらない。そのような耳がいっぱい (**full**) であるということは、相当の量、或いは話の長いことにつながる。

6. 2. eyeful

同様に、eyeful を考えてみよう。eyeful も多量の意味と通じる比喩の意味をもつ。

(16) eyeful 1 口語、たっぷり見ること(a good look)

2 口語、人目を引くもの、注目すべきもの、すごきくきれいな女性

3 (ごみ・しぶき・目薬などの) 目に入った量 He got an eyeful of dust.

…研究社英和大辞典

ここでも、X-ful の X の特徴が比喩的数量を決定しているという仮説が成り立つとする。目 (eye) は視覚情報をどんどん取り込むことができるというふうに認識されていることになる。実際、目の許容量は大きい。もし、そのような収容力の大きいものが、いっぱい(full)になったら、量が多いことになる。視覚情報が十分に入った (つまり、見た) ことになる (1 の意味)。また、許容量が大きいものをいっぱい満たすものが入っていることから、2 の意味とつながる。

eyeful の比喩的数量解釈の場合、ear と同様、-ful でクローズアップされているのは eye(目)の物理的な凹状の事ではなく、映像を取り込む機能である。目の形状に関するのは 3 の文字通りの意味である。

6. 3. noseful

耳、目とくれば、次は鼻である。

(17) He got a noseful of pepper.

この意味はコショウの粉が鼻にいっぱい入ったことを意味する。なぜ、いっぱいを意味するのであろうか。鼻の穴の中に入ったコショウの量は、物理的に言えばたいした量ではないと言えなくはない。にもかかわらず、たくさんという意味がでるのは何故であろうか。鼻は空気を吸い込んでいく気道の一部である以外に、さまざまな種類の微妙な匂いをかぎ分ける機能をもっている。僅かの匂いにも敏感に反応する。その鼻はコショウの微粒が少しの量でも入ると敏感に反応する。したがって、鼻がいっぱいになるほど (a noseful) のコショウの微粒 (の刺激) は「多量」という解釈につながるのであろう。つまり、nose(鼻)のほんの僅かでも感じ取る繊細さは相対的にみると鼻の臭覚的能力の大きさにつながる。それがいっぱい(full)になると、いわば“多量”の意味につながると思われる。

6. 4. headful

headful は「多くの知識」と言うような意味がある。head(頭)には基本的に膨大な情報が入る潜在的入れ物である。この場合も、収容量が多いからそれが full になるということは、多いことにつながる。

6. 5. bellyful, stomachful

お腹は、大きいという認識されている。食べきれない量は嫌になることにつながっている。

(18) bellyful

1 腹いっぱい

- 2 口語 いやになるほどの量、しこたま have had a bellyful of advice[通例現在完了形で]さんざん忠告される
--研究社新英和大辞典

stomackful についても同様に考えることができる。

6. 6. toothful, fingerful 少量

歯はものを噛み砕くことであり、液体をためることではない。上記(13)の説明でみたように、toothに-fulがつくと、物で占められる場所としての歯の大きさ、形がクローズアップされる。歯の表面(凹んだ部分)に残る液体の量は僅かである。このことから、少量の意味につながっていく。

- (19) toothful (ブレンダーなどの) 1口、ちよっぴり --研究社英和大辞典

また、fingerful にも「少量」の意味がある。指(finger)についても、同様に載る量は小さな範囲でしかなく、fingerful の少量の意味へつながるのは自然なプロセスだろう。

6. 7. handful

手(hand)についてもさまざまな意味が考えられるが、handful となると次のような意味になる。『研究社新英和大辞典』及び『ジーニアス英和辞典』の意味をその順で挙げておこう。

- (20) handful 1 手一杯、一つかみ、一握り
2 少量、少数 a handful of children, only a handful of foreign newsmen
3 口語、手に余る[負えない]もの((子供・動物など))、厄介なもの
- (21) handful 1 a ~of +U, C 名詞 ひとつ握りの量 Please give me a handful of nails [rice] くぎ[米]をひとつかみ取ってください。
2 略式 a ~of +C 名詞 少数、わずか (a small number) Only a handful of people came to the party. 通例 only, just と連語して否定的意味で用いる
3 略式 手に余るひと(動物,事)、問題児
4 俗、5年の刑

COBUILD は、少数の意味を表すとして、only, just も付かない例を挙げている。

- (22) A handful of people or things is a small number of them: He surveyed the handful of customers at the bar./ One spring morning a handful of potential investors assembled in Quincy.

1 N-COUNT: usu N of n

A handful of something is the amount of it that you can hold in your hand. She scooped up a handful of sand and let it trickle through her fingers.

- 2 If you say that someone, especially a child, is a handful, you mean that they are difficult to control. [INFORMAL] Zara can be a handful sometimes.

勿論語用論的な要因がからむにせよ、砂等の小さなものは文字通りの意味が可能であろうが、例

えば、リンゴや杏等、手 (hand) で持てるもの数は限られている。したがって、handful の少数という意味が生じうるのも自然であり、それが比喩的に人等について用いられると少数という意味になると考えられる。⁵

6. 8. fistful

hand (手)では、「少数」という比喩的数量が観察されるわけであるが、握りこぶしを意味する fist になると幾分状況は異なる。やはり、辞書の意味を確認しておきたい。

- (23) fistful 1 手一杯、一握り a fistful of sand, a fistful of nuts
2 多数 a fistful of piano pieces --研究社新英和大辞典
- (24) fistful 1 一握り、ひとつかみの
2 かなりの数の
3 米俗 大金、大量；5年の禁固刑 --ジーニアス英和辞典

ここでは、2の数量の意味が問題となる。数名の英語ネイティブ話者に fistful についてインフォーマント・チェックをしたところ、語用論的要因が絡むのではあるが、「少量ではない。」「必ずしも多数とは限らない。」「決心が感じられる。」等の語感を得た。handful の比喩的数量とは異なる理由を探ってみよう。fist の意味に次のような記述がある。

- (25) Your hand is referred to as your fist when you have bent our fingers in towards the palm in order to hit someone, to make an angry gesture, or to hold something.--COBUILD

つまり、この手の形状をするのにはある種の目的が含まれており (in order to ...以下)、例えば、掴もうとする決心が含まれている。断固たるエネルギーと目的が含まれているため、少数ではない、かなりの数という意味へとつながっていくと考えることができる。

7. おわりに

本稿では、-ful 名詞の意味のうち比喩的数量に焦点を当て、容器の把握の仕方、形態素-ful の機能、体の部位の把握の仕方、及びそれらと比喩的数量との関連について考察した。

注

¹ 英語の-ful名詞と単語の atomicity との関係、-ful名詞と指示性等の関連については、それぞれ、Fukuyasu (2007)、福安(2007)を参照されたい。

尚、福安(2007)の98頁、下から5行目の後に、原因は不明であるが、(i)に示される部分が欠如していた。その欠落は論文全体の論点には影響は与えないが、その98頁下から5行目の末尾の後に、読点から始まる次の表現を補っていただければ幸いである。

- (i)。もつとも、種々の要因が複雑に関連し、全体の容認可能性に影響を与えるということもあるようである。

語と語から成り立つ語は言語学では複合語と呼ばれている。英語の *spoonful*, *bushelful*, *toothful*, *handful* のような名詞表現 (以下、*-ful* 名詞) が複合語であるのか否かは、議論の余地があるかもしれないが、本稿でもエスペルセンの *compound* という用語にしたがって、複合語の一つとして扱っていくことにする。

- 2 これらの *-ful* 名詞は次の (i) ような *-ful* 形容詞とは区別されなければならない。

- (i) *beautiful*, *dreadful*, *careful*, *skillful*, *hopeful*, *wishful*, ...

-ful 形容詞は、全体が形容詞であって *-ful* の前の名詞は抽象名詞である。また、*-ful* 名詞の *ful* は [ful] と発音されるのに対して、*-ful* 形容詞の *-ful* は [fəl] と母音が弱化されている。

- 3 平凡社 『マイペディア 電子辞書版』より。

4 Di Sciullo and E. Williams (1987)は、「相対的主要部 (relative head)」という考え方を提案している。それを分かりやすく述べなおすと、「単語のもつある特徴についてのその単語の主要部は、その単語を構成する要素のうちその特徴をもつ最も右側の要素である。」ということになる。例えば、英語の動詞の三人称単数現在形 *sees* において、動詞 *see* は項構造 (argument structure) の情報に関して主要部であり、*-s* は数を表す屈折 (inflection) の情報に関して主要部であることになる。また、複合語の例として次の (i) をあげ、概略、数に関して *supplier* のほうが全体の数を決めているので、*supplier* が数の観点からは主要部であると述べている。

- (i) [[parts]_{pl} [supplier]_{sg}]_{sg}
[[part]_{sg} [suppliers]_{pl}]_{pl}

- 5 *mouthful* については、『研究社新英和大辞典』は次のように記述し、「少し」の意味も挙げているが、ここでは深く立ち入らないことにしたい。

- (i) *mouthful*

1a (ほお張れるだけほお張った) ロ一杯

b 一口 (の量)、一口分 a *mouthful* of food, at a *mouthful*, in a [one] *mouth*

2 少し、わずか; わずかの食物 Have a *mouthful* of luncheon before you start

3 口語、(言にくいほど) 長い言葉[語句]

4 [しばしば皮肉に]米俗、適切な言葉、重要[意味深長]なこと。say a *mouthful*

なお、*mouthful* については、加藤(1993)に詳しい論考があるのでそちらを参照されたい。

参考文献

- Aronoff, M. (1983) *Word Formation in Generative Grammar*, MIT Press, Cambridge, MA.
- Di Sciullo, A. M. and E. Williams (1987) *On the Definition of Word*, MIT Press, Cambridge, MA.
- 福安勝則 (1995) 『恋と愛からの言語学～言葉の重箱のすみ～』 朝日出版社.
- Fukuyasu, K (2007) "On the Descriptions of the <CONTAINER> in *-ful* Nominals in English," *Tsukuba English Studies* 26, 1-12.
- 福安勝則(2007) 「コンテイナー表現の解釈—その指示性、了解要素、依存性を中心に—」 『鳥取大学教育総合センター紀要』 第4号, 95-103.
- Jackendoff, R. (1977) *X-bar Syntax: a Study of Phrase Structure*, MIT Press, Cambridge, MA.
- Jespersen, O. (1933) *Essentials of English Grammar*, University of Alabama Press, University, Alabama.
- 加藤和男 (1993) 「辞書への意義申し立て」 『岩手医科大学教養部研究年報』 第28号, 139-157.
- Quirk, R., S. Greenbaum, G. Leech, and J. Svartvik (1985) *A Comprehensive Grammar of the English Language*, Longman, London.
- Selkirk, E. (1982) *The Syntax of Words*, MIT Press, Cambridge, MA.